



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hoyukai.org/>

第144号

発行:2018年4月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会

## 新年度を迎えて

～ 地域の皆様の為にある鵬友会であるために ～

医療法人社団鵬友会 理事長 池島 秀明



今年は何年より早く満開の桜を楽しむことができ、暖かな陽気もあり、お花見を楽しまれた方が多かったのではないかと思います。この春の暖かな陽気のように、地域の皆様方にとっても温かい医療法人であるために、我々医療法人社団鵬友会も、当法人の基本理念である『当会の設置経営する施設は永年医療業務に関与してきた立場より、この経験を活かしつつ「科学的で良質かつ適切な医療、看護、介護」を普及することにより、ソーシャルサービスの精神をもって地域の皆様から信頼される医療及び福祉に貢献すること』に則って、地域の皆様の健康の維持、児童福祉に、毎年変わらず努力をして参りたいと思っております。

急性期一般病院の湘南泉病院では、ここ数年、横浜市二次救急病院の一員として地域の救急医療の向上に邁進してまいりました。その結果、近隣住民の方々、また地域医師会の先生方にも、信頼できる病院として一定の評価いただけるようになりました。今年度も横浜市西部地区の地域包括システムの中で地域の皆様のお役にたてる病院になることを目標により一層努力することで、地域の急性期医療をより向上できればと考えております。

医療療養型病院の新中川病院では、療養型病院として、患者様及びご家族が安心して過ごして頂ける様、ハード、ソフト両面の更なる充実を図り、快適な療養環境を整備していくとともに、急性期患者の後方支援病院として、その多様なニーズに応えられる様、医療面での専門性を向上させ、患者様やご家族、更には地域から選ばれる病院を目指して参ります。

認知症専門の横浜ほうゆう病院では、昨年度「病院機能評価の認定」を取得することができ、引き続き認知症で医療を必要としている患者の皆様のQOLに配慮した医療・看護・介護の実践を行っております。「地域医療・介護連携」を重点課題ととらえ、認知症ケア研修の開催や講演会への講師派遣を積極的に行うとともに、本年度も受託した2つの事業（認知症高齢者緊急一時入院事業・認知症初期集中支援推進事業）を通じて緊急時の対応強化、在宅患者支援の機能強化に積極的に取り組んでまいります。

一般病院のフジヤマ病院は、昨年度より医療提供体制のより一層の充実に取り組んでまいりました。本年度も加えて地域での連携強化に努め、医療体制を強化することで、地域医療により一層貢献できるよう職員一丸となり取組んで参ります。

本郷クリニックは、瀬谷区本郷地区とその周辺の皆様健康を維持できるように、かかりつけ医として生活習慣病や循環器疾患、呼吸器疾患等内科全般の診療を行っています。今年度はなお一層、地域の皆様に喜んでいただけるように、スタッフ一同「ていねいに、誠実に」をモットーに日々診療を行ってまいります。

介護老人保健施設阿久和鳳荘は本年度、通所リハビリテーションの充実など在宅支援への取り組みを着実に進めていき、在宅支援から看取りに至るまで幅広い視点から、地域で介護が必要な皆様方に「老健」としてお役にたてるよう一層努力いたします。

介護老人保健施設リハビリケアは本年度、介護サービスのより一層の充実に向けて参ります。特に通所リハビリテーションに関しては、職員の増員などをおこなう予定です。地域で介護が必要な皆様方の希望に添えるように、また地域の介護に携わる皆様との連携を強化し在宅支援を充実させ老人保健施設の役割をはたすため職員一丸となりより一層努力いたします。

介護老人保健施設いかる野は、本年度、職員の外部研修などを積極的に取り入れ、より一層の介護サービスの充実に向けて参ります。それにより、当施設を希望される地域で介護が必要な皆様方のご希望に添えるように、職員一丸となりより一層努力いたします。

訪問看護ステーションのほうゆう訪問看護ステーションでは、超高齢社会を迎えた今、在宅部門としての重要性を感じています。発足以来20年培ってきた地域のネットワークを強みに、職員体制の充実と個々のスキルアップを図り、自宅・病院・施設を円滑に結ぶことで、利用者の皆様が可能限り、住み慣れた地域で安心安定して過ごせることができる様に一層努力いたします。

居宅介護支援事業所フジヤマでは、「選ばれる事業所から地域に頼られる事業所」を目指して、各施設の相談員や医療機関、包括支援センターとの連携を図りながら、要介護状態になられた方でも、住み慣れた地域で不便無く暮らす事ができるように人との繋がりを意識したケアマネジメントが実践できるよう基本に忠実に誠心誠意努めてまいります。

横浜市認可保育園であるほうゆう保育園は今年度、なお一層園の周辺にある自然を活かした活動に取り組んでいきます。畑でトマトや大根を育てて給食に使用したり雑木林でヨモギ摘みをして草団子を作ったり、子どもたちが「今日は何をしようかな」と楽しみに登園してくれるよう保育を計画してまいります。

以上、本年度の鵬友会各施設の展望を申し述べて参りました。私ども鵬友会は、今後とも現状に甘んじることなく、さらなる向上を求めて職員一丸となって研鑽を積むことにより医療、福祉、保健、児童福祉の分野での幅広い対応をはかり、地域の皆様より温かいと思われる医療法人を継続していきたく思っております。

ここにあらためまして皆様これまでの鵬友会へのご支援に深く感謝申し上げますと共に、鵬友会の発展のため、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 新年度スタート！～平成30年度入職式/新採用者研修～



池島 理事長

平成30年度入職式が4月2日（月）湘南泉病院会議室において執り行われました。法人内各施設から新入職者総勢22名が集まり、緊張の面持ちで新たな第一歩を踏み出しました。

まず初めに池島秀明 理事長の挨拶があり、「当法人が一番重点を置いているところは、地域のために役に立つことです。その実現のため皆さんに心がけてもらいたいことは、〈人に優しくしてほしい〉ということです。患者さん、利用者さんを大事にすることで感謝され、皆さんもやる気がでる。そして、この循環が地域のためにと繋がります。みなさんにとって、やりがいのある法人ですので、諸先輩方と協力し合い、頑張ってください。」と新入職者への期待を述べました。



【 会 場 】



池島 常務理事



講義風景



続いて、池島 守 常務理事から『鵬友会の組織の概要』についての講義、原科美津枝 横浜ほうゆう病院看護部長から『鵬友会で仕事をする時、求められる職業倫理』についての講義、後半は上村義孝 本部課長から、社会人としてのマナーなどの接遇研修を行い、式は終了しました。



原科 看護部長



上村 課長



講義風景



【 会 場 】

## 「入園式」～ご入園おめでとございます～

平成30年4月2日 ほうゆう保育園



【 園長挨拶 】



【 お遊戯 】



【 お遊戯 】

認可保育園へ移行して4回目の【入園式】が開かれ、新入園児とその保護者が来園しました。今年度は0歳児3名、1歳児9名、2歳児12名、3歳児10名、4歳児12名、5歳児15名、合計61名のスタートです。